

会議録

会 議 名	令和元年度第 2 回芸術文化会館大規模改修検討会
日 時	令和元年（2019 年）10 月 9 日（水）18 時 00 分から 19 時 30 分
場 所	生涯学習センター（クリエイトホール）展示室
出席者氏名	参加者 本杉 省三・能祖 将夫・白澤 宏規・荻原 万実・竹元 正美
	説明者 市民活動推進部長・学園都市文化課長 ほか 4 名
	オブザーバー （公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団 事務局長
欠席者氏名	坂田 宏之・熊坂 麻由美・岩村 偉史
議 題	（1）芸術文化会館大規模改修基本計画【ホール】について （2）芸術文化会館大規模改修基本計画【諸室レイアウト】について （3）その他
公開・非公開の別	「公開」
非公開理由	-
傍聴人の数	0 人
配付資料名	〔事前配付資料〕 <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 ホール改修概要 ・資料 2 いちょうホール改修後配置計画 ・参考資料 1 芸術文化会館現況図 ・参考資料 2 芸術文化会館ホール関連資料 ・参考資料 3 特定天井改修に関する資料 ・参考資料 4 舞台 3 設備改修リスト ・参考資料 5 明星大学デザイン学部デザイン学科 企画表現演習 5 資料 ・参考資料 6 大ホール残響時間について 〔当日配付資料〕 <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化会館大規模改修検討会 参加者名簿

<p>会 議 の 内 容</p>	<p>議題1 芸術文化会館大規模改修基本計画【ホール】について</p>
	<p>事務局</p>
	<p>～ 資料1 説明 ～</p>
	<p>座長</p>
	<p>何か質問・意見はあるか。</p>
	<p>副座長</p>
	<p>客席数を優先し、配置は変更しないということか。</p>
	<p>事務局</p>
	<p>大ホールについては、現在のところ配置の変更は予定していない。 小ホールについては、現在の座席機構を見直すにあたり、配置の見直しを行うことも可能である。</p>
	<p>副座長</p>
<p>客席数をどのように設定するのか。</p>	
<p>事務局</p>	
<p>基本構想におけるアンケート調査においては、千鳥配置が良いという意見もあるが、大ホールの客席数はそのまま維持したいという意見もあった。相反する意見であるが、大ホールについては客席数の維持を優先することとした。 小ホールについては、引き続き議論していく必要があると考えている。</p>	
<p>参加者</p>	
<p>座席を千鳥配置にするのではなく、座席の傾斜を急にすることでも対応できるのではないか。</p>	
<p>事務局</p>	
<p>引き続き検討していく。</p>	
<p>座長</p>	
<p>大迫りは分割したまま維持するということか。実際に大迫りを分割して使っている頻度も調べる必要がある。 大迫りを一体のものとすると、モーターの出力は上がってしまうが、ランニングコストも含めて検討する必要がある。</p>	
<p>事務局</p>	
<p>現状は分割のまま維持することを計画している。</p>	

座長

大ホールのポータルタワーも利用頻度が低く、邪魔ではないか。オペラを行う劇場では重要な設備であるが、多くの多目的ホールでは、固定された板が邪魔となる。

ポータルタワーは照明と一体となっているのか。

事務局

一体となっている。

座長

それでは残したいという意見もあるかもしれない。

この他、大ホールの吸音についてはどのように検討しているのか。

一部分に吸音材を張るのか、カーテンを張るのか、特定天井見直しの際に天井面で吸音するのか。

事務局

客席後部などを検討している。

座長

側面や天井面は音響に大きな影響がでる可能性があり、注意しながら検討していく必要がある。

天井を張り替えるのであれば、ホール空間の容量を変更することができる。仕上げで対応するのではなく、トータルで検討する必要がある。

大ホールについて、オールLED化とあるが、これは大丈夫か。改修時にLED化は積極的に行われているが、全てのスポットライトがLED化で良いという認識は世界中でなされていない。

アップパーホリゾンライトやロアーホリゾンライトなどいくつかの照明機器はLED化を進めても良いが、それ以外については、LEDとハロゲンを組み合わせながら進めていく必要がある。

いずれにせよ慎重に検討していく必要がある。

事務局

舞台照明のLED化について、現段階で課題があることは、承知している。一方で、今後20年間以上使用していくにあたり、これからの舞台照明のあり方を踏まえて検討する必要があると考えている。

是非、みなさんの御意見をお伺いしたい。

座長

小ホールは、興行利用が少ないことから、割り切りってオールLED化

でも良いと思う。

大ホールは、興行利用においてハロゲンを使っている人もいる。その際に興行主で調光機を持ち込む必要があり、敬遠される可能性がある。

参加者

LED は光が冷たく感じられ、嫌う傾向がある。

座長

現在のところ LED 化に対する評価が安定していない。いずれは、すべて LED 化されることも考えられるが、演劇の人たちは嫌う傾向がある。

現段階で LED 化を行った場合、評価の安定した LED が市場に出た際に、買い替えていく必要がある。

小ホールの反射板の撤去とあるが、天井・側面ともに撤去するのであれば、袖幕等が必要となる。また、演劇を行うのであれば、見切りをとることができない。バトンや東西幕も検討していく必要がある。

また、正面の反響板を兼ねる意匠についても撤去し、ホリゾン幕や壁を黒くしても良いと考える。

演劇中心とするのであれば、客席上部のグリッド機構を撤去する代わりにブリッジのようなものを 2 本くらい入れるとよい。

座席からのサイトラインについて、現在の傾斜では緩く、舞台の床面が見づらい。

床を新たに作るため費用は掛かるが、見直しを検討した方がよい。

椅子については、小劇場ということであれば、折りたたみ椅子のような簡易なものでも良いと思う。世田谷パブリックシアター・シアターラムも肘掛けのないベンチである。

議題 2 芸術文化会館大規模改修基本計画【諸室レイアウト】について

事務局

～ 資料 2 説明 ～

副座長

資料 2 にある諸室の名称については、分かりやすく明確にするため再定義をする必要がある。

事務局

ブラッシュアップしていく。

参加者

レストランの現状はどうか。

事務局

現状、利用者がレストランを使用していない時間が多い実態がある。

また、他市の改修事例において、事業者にお願ひし入ってもらった事例もあるが、オープン後営業が難しいという事例もある。

副座長

アンケート調査において、食事ができる場所が欲しいという意見があったが、決してレストランで食べたいということではなく、軽食や、持参した弁当を食べられる場所が欲しいということである。

参加者

今の形にこだわらないが、飲食できる場所は必要であるとする。

参加者

全国的な流れとして、ホール内のレストランは無くなっている。

コンビニで買って食べるなど食生活が変わっている。需要としては飲食できる場所の方が高いのではないかと。

レストランの利用率が高いのであれば別であるが、そうではないのであれば、より有効的な活用が良いと思う。

参加者

現状のレストランは、開放的な空間でないと思う。

開放的にしていく考えがあるか。

事務局

設計の段階で検討していくこととなるが、より開放的にしていく必要があると考えている。

座長

無料ゾーンを増やしていくことも良いが、有料ゾーンを増やしていくことも必要ではないか。子供向けのスタジオや、自分達の文化芸術活動を見てもらえるような場所などを考える必要がある。

1 階部分に、3つも入口を作るのではなく、部屋を増やすことも可能である。

また、楽屋口は使用しているか調査した方がよい。楽屋口を使用していないのであれば、倉庫にするなどできる。コミュニティのための劇場

であれば、楽屋に行く人が裏から入る必要は、必ずしもない。

副座長

大ホールの公演の際、楽屋口は使用している。

議題3 その他

事務局

会議録についても、校正をお願いしたいと考えている。
次回の日程は決定次第ご連絡させていただく。